



MANAVÍS TIMES

VOL.09

心地よい時間、
すこやかな美しさがとどきますように。

ずっと素肌でいたいから。
MANAVÍS

株式会社マナビス化粧品

今号からマナビスタイムスは、持ちやすさとパッキングのし易さに配慮して、従来のタブロイド判からA4判にリニューアルいたしました。

記念すべきリニューアル第1弾となる今号は、発売以来大好評のマナビス エイジングケアシリーズの大特集です。最新の美容のトレンドから、マナビスが考えるエイジングケアの在り方、そして商品にフォーカスを当てた『マナビス 薬用エイジングケアクリーム』の商品解説まで、読めば「なるほど！」と納得のエイジングケアに関する情報が満載です。ぜひお楽しみください。



神回MSCデイセミナー 紙上再現 開発者に聞く マナビスのエイジングケア

※エイジングケア：年齢に応じたうるおいケア

発売開始から大好評のエイジングケアシリーズ。そこで、開発エピソードやスキンケアのトレンド、最適な使い方などについて、マナビス化粧品大畑が、エイジングケアシリーズ開発者の株式会社マナビス新井南都美氏にお話を伺いました。

大畑：おかげさまで昨年の販売開始以来『マナビス 薬用エイジングケアクリーム』がとても好評です。そこで今回は開発者の新井さんに、ぜひ開発の際にこだわったポイントや作っていくときに難しかった点があれば教えてください。

新井：実際私の方にも、お使いいただいたという皆様からのお声をいただいて嬉しく思います。

今回の開発にあたって特に私がこだわったポイントとしては、エイジングケアということで、長くお使いいただく製品にしないといけないというのがあったので、飽きのこない使い心地、しっかりと保湿してくれるけれどもベ

タつかないというところに重きをおいて開発しました。

実際に皆様からも、そういったお声をいただけていて、私がこだわったポイントについては、ちゃんと伝わったのかなと安心しています。

大畑：これまでのマナビスのクリームにはない、とてもしっとりする感触というお声もいただいています。その大人気の『マナビス 薬用エイジングケアクリーム』ですが、2月からは新たに『マナビス 薬用エイジングケアエッセンス』もエイジングケアシリーズとして仲間入りします。そこで質問ですが、そもそもエイジングケアはいつ頃

から取り入れるといいのでしょうか。

新井：エイジングケアと聞くと「いつからやるんだろう？」「もう遅いのかなあ…」などと気にされる方がいらっしゃいますが、実際にエイジングケアは1、2年くらい前までは、シミとかシワなどの、年齢によって生じてしまったトラブルをなくす、肌を若返らせるというところがトレンドになっていたんです。

ところが、最近は少しそのトレンドが変わってきていて、目元にできる表情のシワだったり、生活によって蓄積されたシミと言っても、その人がこれまでに歩んできた一部でもあり、その人自身の魅力をしっかりと活かした肌作りをしようというところ。これは「ウェルエイジング」と呼ばれているんですが、年齢に応じた魅力を引き出すケアをしていこうという考え方に、エイジングケアのトレンドが変わって

きていると言われています。

大畑：一昔前であれば、エイジングケアと聞くと、どうしても自分の母親の世代や少し年齢層の高い大人の女性が取り組むべきケアなのかなという印象があったんですけども、今のトレンドがウェルエイジングということであれば、むしろ年齢の縛りとかもなく、気付いたらすぐに取り入れても良いというものになっているということなんですね。

新井：そうです。「ちょっと肌が乾燥するな」とか「目元に小じわが出始めたな…」とか、皆様が何かしら肌に対して気付くことがある時があると思いますので、そういう「なにか今までとちょっと違うな…」と感じられたタイミングで始めていただければと思います。そういった意味では、エイジングケアに早いも遅すぎるもなくなってきていますね。

大畑：そうなんですね。それがトレンドでもありエイジングケアを取り入れるタイミングでもあるということなんですね。

そんなエイジングケアですが、世の中にはいろいろなアイテムがあります。そこで、他社と違う、マナビスができる、マナビスだけのエイジングケアシリーズの特長を教えてください。

新井：はい。そのためには、まずはそもそもスキンケア全体のトレンドが今後どうなっていくかということからお話を



したほうが分かりやすいかと思います。

スキンケアの今後のトレンドは、大きく3つあると言われています。1つめが「抗炎症・肌あれ防止」、2つめがマナビスのフローラシリーズでもあるんですが、肌の常在菌のバランスのため、肌のうるおい環境を整える効果があるとされている「マイクロバイーム」と言われるケア、3つめが女性の年齢とともに変わってくるホルモンバランスや生活環境の変化によって表れる女性特有のトラブルをケアする「フェムケア」です。

この「抗炎症」と「マイクロバイーム」と「フェムケア」の3つが、世界のスキンケア全体のトレンドになってくると言われています。

実はマナビスのエイジングケアにはこれら3つのトレンドが成分として取り入れられています。「抗炎症・肌あれ防止」がラベンダーエキス（1）とボタンエキス、「マイクロバイーム」がマル

トース・ショ糖縮合物、「フェムケア」がタイムエキス（1）とツボクサエキスとセイヨウハッカエキスです。これらの成分がマナビスのエイジングケアシリーズには配合されています。

つまり、マナビスのエイジングケアは、世界のトレンドを先取りしたエイジングケア、そしてエイジングケアだけではなく、そもそもスキンケアバランスの良いものが入っているということになります。

大畑：つまり、トレンドを全て吸収したのがマナビスのエイジングケアシリーズということですね。

ということは、マナビスのエイジングケアシリーズでお手入れすると、世界のトレンドのお手入れをしていると言っても過言ではないと。

新井：そうですね。世界のトレンドを先取りした状態で皆様にお使いいただいているのかなと思います。

大畑：ところで「抗炎症・肌あれ防止」ということであれば、マナビスでは「グリチルリチン酸ジカリウム」を有効成分としてずっと以前から使用していますよね？

新井：そうですね。肌トラブルの元を辿ると炎症からスタートするということで、最近またトレンドが「抗炎症・肌あれ防止」に戻ってきたと言われて

います。そういう意味ではマナビスはずっと以前から、肌を荒れさせないということに力を入れているので、皆さんはそこを常々ずっと気にしていただきながら、今度は更に新しいトレンドも取り入れていただくということになります。

大畑：ステキですね。そのエイジングケアシリーズに、今回エッセンスが仲間入りすると、エイジングケアシリーズは、美容液とクリームの2種類になります。それぞれの違いというのはどういう点にありますでしょうか？

新井：エッセンスとクリームでは、機能自体、つまりそれぞれが担っている役割が違っています。

エッセンスは美容液という名の通り、肌に必要な成分や水分を、しっかり肌に届けてくれる専門家です。

クリームはそういった成分を肌に届けてくれるという意味では同じなのですが、成分的には油分が多いので、美容液で肌に入れた成分を、逃さないようにしっかりと蓋をしてくれるという役割になります。

なので、美容液で肌に必要な成分を入れて、クリームで蓋をするというイメージで、異なった役割というふうにご理解いただければと思います。



日々変化していく肌にうるおいとハリを与えるエイジングケアに。

大畑：それぞれに違う役割を持たせているので、働きかけ方も違うということですね。

となると、エイジングケアクリーム、エイジングケアエッセンスも、一緒に併用したほうが、より良いということではないのでしょうか？

新井：そうですね。繰り返しになりますが、美容液で肌に必要な成分、そして水分を入れてあげるんですが、実は肌自体は外からの刺激や悪いものから守ってくれるバリア機能を持っています。そのバリア機能に必要なものが、実は水分の量と言われていて、肌の水分の量が少なくなってしまうと、そのバランスが崩れてしまって、バリア機能が下がってしまうんです。

ですので、しっかり入れてあげた肌の水分がなくなるようにするために、最後には必ずクリームで蓋をしていただくということが、肌本来の健やかさを取り戻すために必要な作業になってくるので、一緒に使っていただくことが、素肌美人というところではないでしょうか。

大畑：素肌美人。そういう言葉を聞くと「じゃあやらないきゃ!」という気持ちになりますね。

ところで、エイジングケアエッセ



キメの整った上質なハリ肌に導くリフトアップに。

スが仲間入りすることで、これまでの『マナビス 薬用ホワイトニングエッセンス』、『マナビス リフトセラム』と合わせてエッセンスが3種類になります。これら3種類の明確な違いというのを教えていただけますか？

新井：そうですね。実は3つそれぞれに、まったく機能が異なっています。まずは今回発売された『マナビス 薬用エイジングケアエッセンス』ですが、使い方や使う場所を併せて紹介すると、目の周りのシワですとか、小鼻から口へのほうれい線周りなどですね。シワというのは加齢のサインとも言われてますので、シワが目立つところには『マナビス 薬用エイジングケアエッセンス』をお使いいただきます。

そして『マナビス 薬用ホワイトニングエッセンス』は、美白に効果的ということになりますので、例えば頬の高いところにでしやすいシミですとか、あるいは顔全体がちょっと乾燥してくすんでしまっている状態のときに、明るさを取り戻したい目的で使っていただくものになります。

そして3つめの『マナビス リフトセラム』は、ハリを持たせるものになりますので、頬の外側のフェイスラインや目の下のところに出てしまう、もたつきが気になるところにお使いいただくものです。



なめらかで透明感のある肌をめざすホワイトニングに。



まとめると、シワには『マナビス 薬用エイジングケアエッセンス』、明るさを取り戻したいところには『マナビス 薬用ホワイトニングエッセンス』、そしてハリを持たせたいところには『マナビス リフトセラム』という使い分けをしていただくと、それぞれの役割を引き出せるので良いと思います。

大畑：紫がシワ、黄色が美白、赤がハリ、すごくわかりやすいですね。私の場合は、その悩みが全部該当するんですけれども、そういった場合は全部使ってもいいんでしょうか？

新井；もちろん大丈夫です！3つとも使っていただいて、全体的に3つ重ねていただいても問題ありません。

あとは皆様それぞれによって、肌のお悩みというのは違ってくるかと思いますが、目元には『マナビス 薬用エイジングケアエッセンス』を使って、もたつきが気になるところには『マナビス リフトセラム』を使うといったような、ポイント使いで分けていただくのも良いですし、使い方は個人の好みにもよってくるのかなと思います。

化粧品選びの楽しみって、自分に合った化粧品の組み合わせや使い方を

見つけるというところがあると思いますので、ぜひご自身のオリジナルの使い方というのを探していただくというのも、楽しみの1つにしていけると良いかなと思います。

大畑：私みたいに全部悩みが該当するような人に関しては、3つ全てを全顔で使ってもいいし、たくさん付けるのは大変だけど、ここは気になるというような方は、お肌の悩みに合わせて取り入れるのも良いということですね。

例えば『マナビス リフトセラム』は水分を角層に引き込み、化粧水の入れ込みを良くするために、まずは全顔につけて化粧水を入れて、その後に部分使用で、頬のシミを防ぎたいなら『マナビス 薬用ホワイトニングエッセンス』を、そしてシワも気になるという方は、気になる部分に『マナビス 薬用エイジングケアエッセンス』を足す、といったような部分使いもできるということですね。

もたつきが気になる場合は『マナビス リフトセラム』もありますし、この3つのアイテムは、まるで三銃士のようでとっても心強いですね。

だとして、これらの3つを使うときの順番というのはどう考えればよいでしょうか。

新井：化粧品は一般的に油分の少ないものからお使いいただくと、肌への馴染みが良くなります。ですので、この3つのアイテムの順番ということであれば、『マナビス リフトセラム』、『マナビス 薬用ホワイトニングエッセンス』、『マナビス 薬用エイジングケアエッセンス』の順で取り入れていただくのがよろしいかと思います。

大畑：ありがとうございます。色でいうと、赤・黄・紫の順ということですね。

私は欲張りなので、どれも全部ケアしたいとなると、数を付けることに抵抗はないんですが、順番はいつも迷うんですよ(笑)。それぞれの間に化粧水を挟むのであれば、今お教えいただいた順番でやっていけばよいということですね。

今日はとても勉強になりました。ありがとうございます。

※エイジングケア：年齢に応じた、うるおいケア
※美白：メラニンの生成を抑え、しみ・そばかすを防ぐこと

もっと知りたい話したい

アイテム解説

始める瞬間が、あなたにとってのベストタイミング。
有効成分「ナイアシンアミド」配合のエイジングケアシリーズ！
美しくしなやかな弾力美肌へ。

MANAVIS 薬用エイジングケアクリーム

※エイジングケア：年齢に応じたうるおいケア

お声がけするときにちゃんと良さを伝えたいから、もっと知りたい
「どうしてそんなにきれいな肌なの？」と聞かれたら、しっかり話したい
そんなお声を受けて、アイテムを詳しく、わかりやすくお伝えします。

●エイジングケアへの想い

「年齢を重ねることは、美しさを深めること。」肌の変化を感じたとき、それをネガティブに捉えず、自分らしい美しさを磨いていくチャンスと考えられたら…。そんな想いで、マナビスはエイジングケアに向き合い続けています。その答えのひとつが、マナビス 薬用エイジングケアクリームです。

●マナビスが考えるエイジングケア

ただ単にシワ改善だけに着目するのではなく、肌本来の美しさを引き出すために、肌のハリやうるおいをサポートするだけでなく、透明感やキメの整いにも働きかけるよう、植物由来エキスを贅沢に配合。多方面から肌にアプローチすることで、一人ひとりが持つ個性や美しさを引き立て、すこやかに輝く肌へと導くことを大切にしています。そして今回、さらなる肌の輝きを目指し、「ナイアシンアミド」を配合したエイジングケアシリーズを発表しました。

●マナビスのエイジングケアの特長

肌トラブルの大きな要因のひとつが「炎症・肌あれ」であり、これらを抑えるケアが美容の新たなトレンドになっています。エイジングケアシリーズでは、ラベンダーエキス（1）やボタンエキスを配合し、炎症や肌あれを防ぐ処方采用了しました。

また、肌に存在する無数の常在菌のバランスが崩れると、バリア機能の低下を引き起こすことが分かってきました。そこで、マルトース・ショ糖縮合物を配合し、マイクロバイオーム（常在菌環境）のために肌のうるおい環境を整え、バリア機能の健やかさをサポート。外的ストレスに負けない肌づくりを目指します。

さらに、女性のライフステージに寄り添ったフェムケアの重要性の高まりから、タイムエキス（1）、ツボクサエキス、セイヨウハッカエキスを厳選配合し、肌のコンディションを整えながら、女性特有のゆ

らぎに寄り添うケアを叶えます。単なる年齢対策ではなく、「肌の根本的なすこやかさを育むアプローチ」——それが、マナビスのエイジングケアの特長です。

●マナビスのオイルへのこだわり

肌のコンディションを整えるために、化粧品にはさまざまなオイルが使用され、特にクリーム類には多く配合されています。

現代のオイルは、肌のバリア機能をサポートし、水分の蒸発を防ぐ重要な役割を果たす、まさに“肌の味方”です。かつては不純物を多く含み、酸化しやすいオイルが一般的だったため、「オイルは肌に良くない」というネガティブな印象をまだお持ちの方もいらっしゃるかもしれません。しかし今では、高度な精製技術で不純物を取り除いた、酸化しにくい高品質なオイルが生まれています。

マナビスでは、厳選したオイルを採用し、肌に必要なうるおいをしっかり届けながらも、軽やかでべたつかない処方を取り入れています。特に年齢を重ねると皮脂の分泌が減少し、肌の乾燥が進みやすくなります。そこで今回のエイジングケアクリー

ムには、うるおいのバランスを整え、肌をしっとりと保つためのオイルを採用しました。また、ただ配合するだけではなく、使用感にもこだわり、スキンケアの仕上がりや手触りまで、毎日のお手入れが心地よく感じていただけるように設計しています。

●エイジングケアクリームへのこだわり
・テクスチャーへのこだわり
「軽やかで心地よいのに、しっかりとうるおう」。その理想をかたちにし、毎日のお手入れが楽しみになるような、飽きのこない使い心地を追求しました。

クリームにはコクがあり、重い使用感になりやすい傾向がありますが、コクのあるしっとり感を保ちつつ、べたつかず快適に使える処方を実現するために、油分の種類とバランスに徹底的にこだわりました。

キーとなる成分の一つが メドウフォーム油です。重厚感ある塗り心地が特徴的ですが、配合バランスを誤るとべたつきの原因になる成分です。シア脂やマカダミアナッツ油 を組み合わせることで、肌にしっとりとなじみながらも、べたつきのない心地よい使用感を追求しました。さらに、（エイコサン二酸／テトラデカン二酸）デカグリセリル液 を配合。水なじみの良い油で、他の油のべたつきを抑える働きを持っています。また、肌のバリア機能のサポートも期待できる成分で、セラミド類（これも油性成分）と組み合わせることで、外部刺激から肌を守る働きをサポートし、うるおいを届けます。

このように、マナビスの薬用エイジングケアクリームは、オイルの持つうるおい効果を最大限に活かしつつ、べたつきを抑えた処方設計にこだわっています。

・香りへのこだわり

これまでのマナビスは、ヘアケアやフローラ スキンケアオイル以外、原則として香料を使用しませんでした。エイジングケアクリームでは、あえて香りを取り入れました。それは、日々のお手入れ時間をより心地よく、自身を労るひとときにして

マナビス エイジングケアクリームの特長成分

ナイアシンアミド（有効成分 シワ改善）
水溶性のビタミンB3。肌を健やかに保つさまざまな働きがあり、表皮の上層部ではセラミドの合成を促して水分を保持し、表皮の下層部ではメラニン色素の生成を抑えてシミを予防します。真皮ではコラーゲンの産生を促しており、シワを改善する効果が期待できます。

ツボクサエキス
インド伝統のハーブが根付く東洋はもちろん、西洋でも古くから生活のさまざまなシーンで用いられてきた、歴史ある植物由来の成分です。肌あれを防ぎながら、ハリとうるおいを与え、乾燥や外的刺激に負けない、明るく健やかな印象の肌へ導きます。

Maltose

マルトース・ショ糖縮合物
一見するとケミカルな名前ですが、天然の糖である「スクロース」と「マルトース」を酵素合成することで得られる天然由来の成分です。肌に有益な常在菌（美肌菌）が動きやすい、すこやかな肌環境へと導くことに期待が持てる成分です。

タイムエキス（1）
シソ科植物の「ワイルドタイム」から抽出される成分です。マチュア世代の女性が抱える悩みの一つである『うるおいムラ』に対し、十分なうるおいを肌全体に届け、肌のバリア機能に着目してターンオーバーをサポートすることで、肌のごわつきケアが期待できます。

ラベンダーエキス（1）
シソ科植物の「ラベンダー」の花から抽出される成分です。ラベンダーの心地よい香りがリラックス感を誘い、優れた保護効果と保湿効果を発揮し、肌あれや乾燥を防ぎ、敏感肌にも優しく働きかけます。いわゆる敏感肌や揺らぎ肌の健やかさ維持に期待できる成分として有名です。

いただきたいという想いからです。

肌そのものをやさしく整えるために、ラベンダー由来の「ラベンダーエキス（1）」も配合しました。

近年、ナイトケアに力を入れたスキンケアが注目され、「肌と心を整える時間」への関心が高まっています。その流れを受け、エイジングケアシリーズの開発にあたり、リラックスしてお手入れを楽しんでいただけるよう、香りについても設計を行いました。そして採用したのは、ラベンダーとカモミールをベースにした精油の香り。なかでもラベンダーは、落ち着きのある安らぎの香りとして世界中で親しまれ、リラックスタイムにぴったりです。また、香りだけでなく、

毎日の朝晩のスキンケアが、一日の始まりと終わりに自分自身を労わる大切なひとときとなりますように。そんな願いを込めて、香りにもこだわりました。自然のめぐみを贅沢に配合したスキンケア、長く寄り添える心地よい使用感、そしてリラックス感に包まれるやさしい香り。朝のすこやかなスタートにも、夜の穏やかなリセットにも寄り添えるよう、毎日のスキンケアがより豊かで心弾むものとなれば幸いです。

高島屋オンラインストア 取り扱い開始！

長い歴史と格を持つ老舗百貨店が
公式サイトで取り扱うということ。

それは、マナビス化粧品が
会社として、そして商品として
信頼できると認められた証。

これまで、これからも
マナビス化粧品は
自信を持っておすすめできる
商品を皆様に提供してまいります。



おもてなしセレクション受賞記念キャンペーン

キャンペーン期間 2025.4/3 ▶ 2025.6/30 ※6/30(日)の16:00までのご注文分



期間限定！

購入特典 商品番号 158

エコ
ポイント
対象

期間中、「フローラ サプリメントプラス」をご注文で、
フローラ ファーストセラムトライアル (10mL) をプレゼント！



フランク ￥6,000 (税込)
Uランク ￥5,100 (税込)
Eランク ￥4,800 (税込)
Jランク ￥4,500 (税込)
Vランク ￥4,200 (税込)
実績数1

期間限定！

受賞記念キャンペーンセット 商品番号 453

キャンペーン期間でしか手に入らないお得なセット！

- 薬用スキンウォッシュトライアル (10g) ×1
- 薬用スキンマスクトライアル (10g) ×1
- フローラ ファーストセラムトライアル (10mL) ×1
- フローラ スキンケアオイルトライアル (10g) ×1
- マナビスオリジナル泡立てネット ×1



フランク ￥3,000 (税込)
Uランク ￥3,000 (税込)
Eランク ￥2,644 (税込)
Jランク ￥2,284 (税込)
Vランク ￥1,910 (税込)
実績数0.3

リニューアル

マナビス フローラ サプリメント プラス

従来のマナビス フローラ
サプリメント ベーシック
に配合されている成分にプラスして、
新成分 **ポリアミン産生乳酸菌** を配合



<ポリアミン産生乳酸菌とは>

ポリアミン産生乳酸菌は不足しがちな「ポリアミン」を作り出す非常に珍しい乳酸菌です。
ポリアミンはヒトを含めたすべての生物が細胞内に持っている生命活動の維持に不可欠な成分です。
成長期をピークに年齢とともに減少するため、毎日の食事やサプリメントから積極的に補うことが大切です。



158

マナビス フローラ サプリメント プラス

※商品リニューアルに伴い商品番号が変更となりました
※エコ商品対象のためポイント2倍